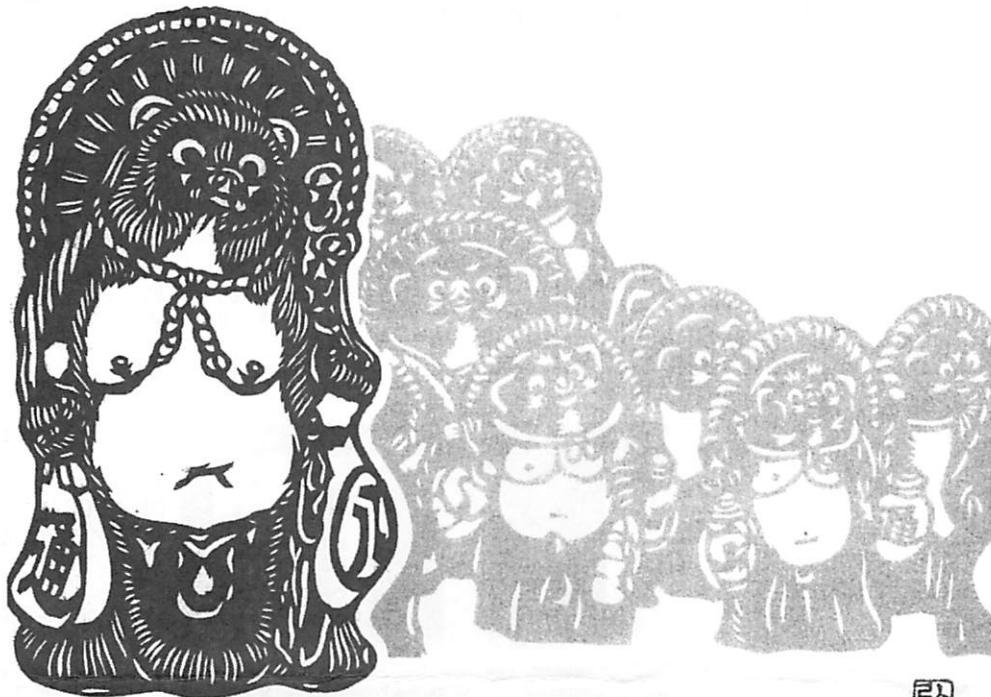




切り絵「信楽・狸の群像」



田中 弘 画

太田典礼さんのお墓	小田切明徳
憲法と女性の力	寿岳章子先生を憶う
京大病院事件の思い出	溝内 幸子
わが青春の一齣(二)・完	松岡 健一
イラク戦争反対立て看板	
仮処分事件の総括(二)・完	
民放労連	
京都放送労働組合執行部	
総会のお知らせ	
紹介 湯浅晃著	
『二〇世紀・私がたどった道』	
執筆者紹介	
編集後記	

執筆者紹介

紹介 湯浅晃著
『二〇世紀・私がたどった道』

奥村 和郎

編集後記

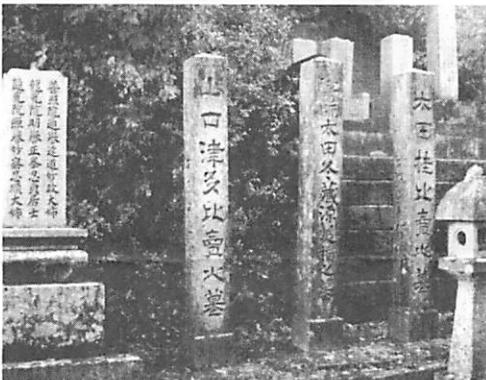
太田典礼さんのお墓

小田切 明徳

生前の太田典礼さんには二度お会いしています。初めは、優生保

たので、小説『老人島』の感想を述べただけでした。

ンガー」（日本評論社、二〇〇三）の205頁の記載を参照）。



○主な研究・著作

○主な研究・著作（Dの年譜を参考にして小田切が作成しました）

一九〇〇年一〇月七日与謝郡三
河内（現野田川）に生まれ、府立
第四中（宮津中学）三高、九州大
学医学部を経て、一九二五年京大

瞬間でした。ここで典礼さんの足跡をたどっておきましょう。

物論全書)を買った時。山本宣治(山宣)の調査のために性の啓発活動のリーダーとしての安田徳太郎、太田典礼、朝山新一らにインタビューをしていた頃でした。

お会いした典礼さんは「何でも聞いてください」とこやかに応対していただいたのですが、私は典礼著『性の科学と倫理』(文理書院、一九四七)、「太田リング記録」(刊々堂出版、六九)、「日本産児調節史」(日本家族計画協会、六九)等を読んでいたので質問はなく、彼の活動の中心が「安楽死協会」から「尊厳死」にあります

ゲの記録》、B『ここをわが家とおぼえしか』、C『反骨医師の人生』D『生きて生きて八十余年』に当つて、ご遺族・息子さんの瓦氏作成の年譜への質問もあり、この際に墓参りをすることにしました。

典礼さんは膨大の著作がありますが、書誌学的事実関係のチエックがなされていないようで、事実関係の誤記・誤植があります。例えば、Dの年譜381頁の昭和一三年の「サンガ夫人来日」の年と出会った人名が違っています。(加藤シヅエ百年を生きる)(文芸春秋一九九七)や「マーガレット・サ

野田さんから頂いたお墓の写真には赤御影石の墓石に「本来 靈魂なし 墓は歴史の証」と典礼さんの筆跡が彫られていました。野田川町梅林寺にある太田家の墓地には息子の瓦さん、地元・三河内の江原昭三さん、性教協の中西早苗さんにご案内を頂き実物を見て驚きました。たいそう立派なもので生前の典礼さんを偲び大感激致しました。

北丹波地方の大地震地の救援医療活動を契機に地元で開院。二八年、太田病院建設、診療の傍ら避妊具の研究、三一年、避妊具研究のため京大研究室へ。三年、太田（子宮内避妊器具）リング発明、三年、「子宮頸癌の細胞学的研究」（近畿産婦人科学会雑誌）、学位論文翌年、同学会で最優秀論文・高山賞。博士論文を「思想的偏向、産

太田互さんのお話によれば、正面の墓碑銘として用意されたのは「太田一族ここに眠る」であつた。そうでしたが、これが今は裏面と

児制限は国策に反す」と文部省が承認。三四四年、日本医事新報「一時的避妊の新方法・子宮内装置器具の研究」、三五年「子宮内異物の避妊効果に関する研究(近畿産婦人科雑誌)、「権太土人ギリヤーク・オロツコの氏族制度」。「産児調節の新知識」(伸元社)、三六年「処女女性の医学的抹殺」(中央公論)、「性科学的研究」の創刊(八号、性教育特集→発売禁止)後に改題して「性教育」、「科学のペニ」創刊、「ホルモン科学読本」。三七年「曉の感覚」(南光社)、「性科学」(三笠書房の唯物論全書の1冊)、三八年「中央公論」(座談会サンガ)、石本シヅエらと)、以降執筆禁止状況。四一年郷土史研究で戦後に「丹後の民謡」(井上正一編)。四五年不承認であった医学博士号受領、四六年地元に北星会を作る、四七年「各種産児調節法」(産児制限同盟)、「性の科学と倫理」(文理書院)、四九年「産児制限の正しい知識」(日本産業協議会)、この頃、箱根の山こもり、「青と赤」を書く。五二年東京等で安藤画一や沢崎千秋との討論、太田リング優位となる。インド・ポンベイ第三回産児調節国際会議出席、五五年「思春期の教養」(文理書院)、「ホーデン隨想」(大衆社)、五六六年「青春白書ノイローゼの手記」(文

理書院)、五七年「青と赤—私は見て來た」(妙義出版)、「誤診」(朋文社)、「完全なる男性」(朋文社)、六〇年「青春の知識」(文理書院)、六一年米人口審議会IUD評価、六二年スパイラルリング(長野丈夫の協力)完成、六三年「安楽死の新しい解釈とその立法化」(思想の科学)、六七年チリ家族計画国際会議に参加(IUDの父と称えられる)、「堕胎児禁止と優正保護法」(経営者科学協会)、六八年葬式無用の会立ち上げ、「医心方・房内」(芳賀書店)、六九年「日本産児調節史」(日本家族計画協会)、七一年「愛と性の知識」(文理書院)、七三年「古医学月法」発行、「安樂死のすすめ」(三一書房)、七四年厚生省太田リング認可、「太田リングの記録」(刊々堂出版社)、「避妊リング」新しく許可になつた避妊法」(同)、七六年安樂死協会結成(八三年尊厳死と改称)。

理書院)、四九年「産児制限の正しい知識」(日本産業協議会)、この頃、箱根の山こもり、「青と赤」を書く。五二年東京等で安藤画一や沢崎千秋との討論、太田リング優位となる。インド・ポンベイ第三回産児調節国際会議出席、五五年「思春期の教養」(文理書院)、「ホーデン隨想」(大衆社)、五六六年「青春白書ノイローゼの手記」(文

憲法と女性の力 寿岳章子先生を憶う

溝内 幸子

「ほんとうに憲法を守っていくには女性の力が必要だ」とつくりられた「憲法を守る婦人の会」です。二〇〇三年の夏のことでした。寿岳章子先生より会員への呼びかけがあり、急ぎ平和ミュージアムの一室に集まりました。そこで先生から「最近体調もすぐれず、この会の存続について考えた末、この際解散ということにしては思つてはいるが」という提案がなされました。思いがけぬことで全員はまどいましたが、みんなが意見をだすなかで「憲法を暮らしの中に生かす埼川府政を支え歩み続け

が家とおぼえしか」(人間の科学社)、「エロスの周辺」(同社)、八一年「第三の性～性は崩壊するか」(人社)。なお、「青年に与う」、「処女の科学」、八二年「安楽死」(三一書房)、「死はタブーか」日本人の生死観を問い合わせ直す」(人間の科学社)、八三年「中絶は殺人ではない」(人間の科学社)、「権太と日本との悪縁」(同)、八四年「ガンと安楽死」(共著、人間と科学社)、

「世界のエロス芸術」(同社)、「老人島」(同社)、「王さまの眠り」(同社)。なお、「青年に与う」、「処女の科学」、八二年「安楽死」(三一書房)、「死はタブーか」日本人の生死観を問い合わせ直す」(人間の科学社)、八三年「中絶は殺人ではない」(人間の科学社)、「権太と日本との悪縁」(同)、八四年「ガンと安楽死」(共著、人間と科学社)、

と記している)は未確認。

一九八五年一二月五日逝去、八五歳、野田川町名誉町民。

結局、事務局で最高年齢者がなる
ということで、至りませんが私、
溝内に決まつたのです。

寿岳先生のご回復を信じ、それ
までの「旗持ち役」をお引き受け
しましたが、思いもかけぬ昨年七
月のご逝去。こんな重要な情勢の
時にと無念でいっぱいです。

小泉内閣のもとで、憲法、とり
わけ九条をなくす方向が強まつて
います。昨年二月、宇治大久保自
衛隊がイラクに派兵され、八月に
帰還しましたが、その間、ご家族
や子どもがどれ程安否を気づかっ
ていたか、正に戦争時代を想起さ
せる出来事でした。私たちは自衛
隊を訪問し、無事に帰還できたの
は「九条」のおかげであることを
強調しましたが、危険な状況がす
んでいます。

しかし、心強いことは、憲法を
守る「九条の会」が全国で四〇七
九団体（今年一月現在）に達し、
京都府でも三〇二団体となつて、
さらに増え続けていることです。

私たちの「憲法を守る婦人の会」
は、三七年の歩みを続けておりま
すが、「九条の会」にもその歴史
を重ねて役割を果たしていること
に確信をもつております。

一九六五年の晩春の頃に、当時
京大法学部の宮内裕京大教授と後
に参議院議員になられた神谷信之

助京都府職労委員長が、女性を中心とした憲法の会をつくるように
呼びかけをされ、それを積極的に
受けとめて、「憲婦の会」を創設
された寿岳しづ先生、章子先生の
志に、今改めて敬意と感謝を捧げ、
憲法小冊子に記されているしづ先
生のことばを読みかえしたいと思
います。

四月九日、女性憲法知事誕生に
むけ、私たちは「憲婦の会」の名
にかけて、力をつくしたいと心か
ら念じています。

います。「平和憲法こそが人間と
して生きるあかし」と章子先生は
言つておられます。

四月九日、女性憲法知事誕生に
むけ、私たちは「憲婦の会」の名
にかけて、力をつくしたいと心か
ら念じています。

—京大病院事件の思い出— わが青春の一齣(一一)

松岡 健一

(二) いわゆる

「京大病院事件」の概要

④ 警官による学生逮捕で
新たな展開へ

ところが事態はまた新たな展開
を示す事となります。ハンストが
解かれると、翌日一八日病院側は
態度を変え、「仮覚書」への調印
延期を申し出、最終的には官憲を
用いて、これを破棄する行動に出
たわけであります。その理由は、「学
生と学校側が対等の地位において
調印する事は不當である」という
ことでありました。学生側は直ち
に交渉再開を申し入れたが、病院

長は応ぜず、五学部長の仲介へと
移されました。午後八時に至り、
京都市警察は約四百名の警官を動
員し、交渉委員の三名、松岡健一
(医)・藤田正雄(文)・佐藤昭夫
(理)を交渉の場から逮捕すると
いう異常な行動に出ました。逮捕
状には種々不明瞭な箇所が見られ
ましたが、「前日院長の周辺を囲
繞し外出を妨げ、ついに四名の採
用を強要したため」とされていま
した。逮捕者の一人が筆者である
ため、一〇日後釈放されるまでの
経過は、旧友細川君の記録に頼る
ことになりました。

京大学生の斗いは、五月二八日
から三〇日にかけて、東京で開か
れていた全日本学生自治会連合(全
学連)の全国大会で、学生運動に
対するファッショナル的弾圧として論
議されました。その結果、六月三

打ち切りを宣言して逃亡しました。
学生は直ちに学生大会を開き、「学
園の自治」を絶叫し、新たに京大
共同闘争委員会を設置する事を決
議しました。

翌日一九日午後、二千名の学生
が京大本部図書館前に集まり、三
学生の即時釈放、学園に警官を入
れた責任者の追及、学園の自治を
壊す警察の干渉反対などを決議し、
「学内外のあらゆる民主勢力と協
力し、学問の自由と学園の自治の
ために闘う」宣言を行いました。
一般新聞も大々的に取り上げ、京
大「学園新聞」は異例の号外を發
行し、全学に知らせました。

これに応えて、経済学部教授団
をはじめとして、三百名に及ぶ教
職員有志団は、大学の教授会・評
議会の改組、総長選挙制度の改革
など、大学の民主化に対する呼び
かけが開始されました。こうして
戦後初めての京都大学の民主化の
ための、学生と教職員の大きな運
動の高まりへと発展しました。

日京大で全国学生大会を開く事が決議されました。大学当局は、図書館前の広場（時計台下の正面広場）の使用を許可せず、全国の学生代表約一五〇名を含めて最後まで開会の交渉を続けました。

大学当局は、頑固な態度で交渉を拒否し、使用中のマイクの電源を一方的に切るなどの行為に出たため、学生の強い憤激を引き起こし、大ホールでの座り込みを含む大衆抗議行動へと発展し、再び官憲の介入による事態へと突入しました。二日間にわたる長時間の交渉が展開されましたが、学生の疲労も重なり、六月五日この斗いを終結しました。しかし、この斗いが終始京大生のイニシアチブで展開されなかつたことが、「全学連事件」と呼び批判の声が寄せられるようになつたことは、反省点として残されました。

休みに入る時期を狙い、六名の学生の処分を発表しました。学生は新たな困難な斗いを迎えることとなりました。しかし、この運動に参加した学生・教職員は、多くの貴重な体験と教訓を得て、新たな斗いに取り組む展開へと進みました。六名の学生処分に反対する斗いは、無期停学者の解除を半年後に勝ち取り、旧来の学友会型の同学会を真の全学的自治会に変えるための、各学部自治会連合の粘り強い活動により、翌年の同学会選挙を通じて前進しました。更に広範囲の学生の参加する「全面講和」を目指す平和運動では、全学生を対象とする平和投票が九三%の賛成を得、二千人の平和集会など多面的に展開されました。この間のことを回想し、若干の所感を述べることとします。

の斗いは、これの嚆矢といって過言ではないと思います。彼女達は人間らしい看護婦になるためには病院の封建的な体质と斗わざるをえなかつたが、この事が大学の民主化を求める広範囲な学生・教職員の心を引き立たせたと言えましょう。

不採用の撤回を斗いとれなかつたことが残念で、何時も心に残つていました。今から数えると二〇年余り前の事ですが、民医連のある会合で、六名のハンスト組の一人に偶然出会う事がありました。短時間のことで、何処から話してよいか戸惑う始末でしたが、青春の思い出を語り合い、お互に医療の民主化のために頑張ろうと誓つて別れました。彼女達が今どうされているかわかりませんが、きっと夫々の立場で頑張つておられることと確信しています。

第二は、学生の民主主義、平和と人権を守るエネルギーの逞しさは、すばらしいものであると言う事です。そして、当時は「ファッショとの斗い」というスローガンが叫ばれていましたが、権力者の横暴と全身全霊を傾けて斗う経験を持つた事は、この運動に参加した学生にとって、生涯の生き様に大きな影響を与えた事でありましょ。青春期の特性として、時に

暴走する事もあるが、人間性と真理、正義に対しても敏感に反応し、旧来の予想を超えるような行動力を發揮するものであることは、ルソーが「エミール」の中で描いていることでもあり、時代の変化を超えた特性でもあります。当時は、戦後の解放感から、再軍備の政治反動が息を吹き返し始めた頃で、学生が敏感にこれに反応し、平和と民主主義のために行動に立ち上がった時代でした。「京大病院事件」もその流れの重要な一齣であつたと思います。

会で十分議論したかどうか疑わしい。仮に仮処分命令をとつても、その後の組合対策をどうするのか役員全体で一致していたのか疑問であつたし、管理職も一体となつて組合敵視で動けるのかこれも疑問であつた。

四、加藤社長は、表にてこない。単に古家野管財人の方針を黙認していただけだらうか。

五、主要財界人の株主に対し自主的に配慮する。

六、当時京都市長選挙が行われておりイラク戦争反対のストライキ。ガンは、現職市長と対立する廣原盛明候補の政策と同じであり、市長選挙への配慮が働くいた。

このようなねらいや判断で始めた仮処分事件も結局は、会社の敗訴に終わりました。会社は、団交で敗訴は認めつつ「プロバー役員・局長と組合との間で話し合いがもれた上、組合も審尋で管財人の考へ（申請）を理解した」と総括し「申立てに間違いはなかつた」と弁明しています。しかしこれは誰がどうみても無理にこじつけた総括で、会社に勝利感はなく、とりわけ経営陣はじくじたる思いであることは間違ひありません。

イラク反戦運動の弾圧をばね返す

②会社の申立てに無理があり当初から勝訴を確信していた。

歴史の審判

組合の反戦行動と会社の弾圧

③組合員に動搖がなく団結して闘えた。一面では、会社の組合員への脅しがなかつたことも理由

にあげられる。

④仮処分問題ニュースを独自につくり八号まで発行する。これは

社内に仮処分問題の本質を広め世論をつくった。

⑤村山見弁護士の協力

⑥民放労連・京都総評・北上地区労・京都ミックなど全国・地域の仲間や市民のためのKBSを

めざす実行委員会の市民のみなさんの支援。

③会社は裁判所の力をかりていつまきよに組合弱体化を狙つたが、敗訴という結果で思惑がはずれ、ますます労使の力関係は組合優位となつた。

④経営陣への批判がさらに高まつた。特に仮処分申立てを指導した古家野管財人へは取締役退任を求める声が多くあがつた。またこの仮処分申立てを認めた加藤社長にも批判が強まつた。

⑤執行部にとって今回の裁判闘争は、勉強にもなり自信にもつながつた。

またこのような成果をあげることができた要因については次の点があげられます。

①執行部に仮処分事件への対応に自信があつた。昭和四〇年代の雇用差別事件で仮処分事件を、また裁判所とのやりとりも更生法申請をめぐつてすでにそれぞれ経験していた。

板で仮処分事件があつたことを将来振り返つた時、二〇〇四年に初めて自衛隊が戦争でていく日本の転換点で京都放送労組だけが京都で立て看板をだし反戦の意思を示したこと、そしてその平和を願う気持を仮処分という形で抑圧するという暴挙にてた会社（KBS）京都への批判がクローズアップされることでしよう。

(完)

一一〇〇六年度総会のお知らせ

日 時 六月二四日（土）一時三〇分～四時

ところ ひと・まち交流館京都（下京区河原町正面）

二階 第一会議室

講 演『中国は今、なにを考えているか』

大西 広氏

（京都大学大学院経済学研究科教授）

議事活動報告・会計報告・活動方針等

京都の民主運動史を語る会

